

# 天王中学校だより 12月号

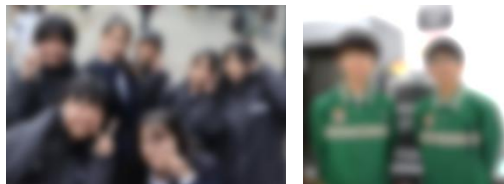
令和7年11月28日

<めざす生徒像>

校長 浅香 健一郎

いのちを輝かせ、主体的に行動できる生徒

## 10 1年生校外学習



11月5日(水)、1年生は秋の校外学習として京都嵐山方面に行ってきました。古都:京都の伝統文化に触れてきました。事前学習として、総合学習の時間を使い、散策ルート調べたり、考えたりして、予備知識を蓄えつつ、現地に向かいました。

色づき始めた紅葉の下、決められたおこづかいの中で、気になったものを食べたり、買ったりして、事前に考えたことと実際の体験との融合を図るべく、班の仲間とともに過ごす1日となりました。



## 20 2年生職業体験

11/4(火)~5(水)の2日間、それぞれが決めた事業所で「仕事」を体験してきました。

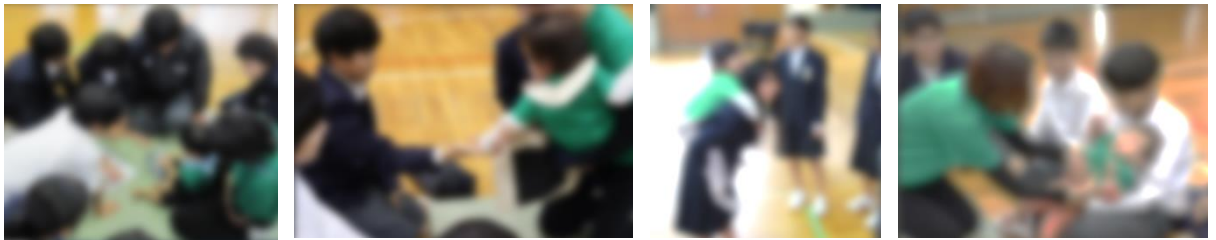
日常の学校ではない場所での2日間。仕事の大変さ、つらさを感じたことと思います。でも大変さ、つらさの先にやりがいであったり、うれしさであったり、充実感であったりと、仕事に対する何らかのポジティブイメージが残っているのならば、濃密な職業体験だったということでしょう。体験での努力の結果、人として大事な感情を持つことができ成長したのだと思います。2年生のみなさん、本当にお疲れさまでした^^。



### 3 赤ちゃん先生

11/12(水)に、いのちの尊さを学ぶ活動の一環で、赤ちゃん先生をお呼びしました^^。

1歳前後の赤ちゃんが講師として、それぞれのお母さんとともに、1年生にたくさんの苦労や喜びを教えてくださいました。体育館に畳をひいて、赤ちゃん先生とお母さんを囲み、ぷにゅぷにゅの手指や柔らかい肌に触れながら、いのちの誕生について直接出会えるとても貴重な話を聞かせてもらいました。



### 4 2学期末テスト

2・3年生は11/17(月)~19(水)に、1年生は流行風邪の影響で学年閉鎖となり、25(火)~26(水)に期末テストを行うことができました。問題用紙と真剣な眼差しでにらめっこして取り組んでいる姿が印象的で、これらの成績や2学期の生活状況などを12月の懇談でお話する予定です^^。



### 5 12月・1月の主な予定

#### 【12月-December-】

- ・16(火)~22(月) 三者懇談
- ・19(金) 臨時 PTA 総会(予定)
- ・24(火) 終業式、天カフェ



#### 【1月-January-】

- ・8(水) 始業式
- ・9(金) 3年実力テスト
- ・14(水) 1・2年チャレンジテスト
- ・21(水)~23(金) 3年学年末テスト



校長 

## ～ 勝負の神様はどこにいる？ ～

気が付けばもう12月。新年2026年までもうすぐです。2026年と言えば、世界的な大きなイベントが2つ予定されています。テレビやネットで報道されているように、3月には大谷選手も参戦する野球の世界大会であるWBCと、6月～7月にかけて行われる4年に1度の祭典、サッカーワールドカップです。

さて、私事ですが、土・日に行われた欧州サッカーのハイライトを Youtube で、子どもと観戦することが月曜日のルーティーンになっています。その流れで Youtube を見ていると、いつのまにかサッカー日本代表のW杯の歴史についての、1つの動画が流れていました。



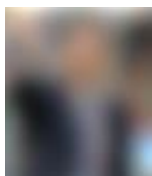
W杯出場を逃したドーハの悲劇から、サッカー日本代表が初めて出場した1998年のフランス大会、日本と韓国で共催した日韓W杯～現在に至る歴史をわかりやすい解説で紐解いた動画番組でした。

校長先生は中学生のころ、ドーハの悲劇を夜遅くテレビの前で観戦していたので、なつかしい記憶がよみがえりました。いつかの集会でルパン三世の鼻歌の話をしたと思うのですが、そのころの記憶もよみがえってきて、少し恥ずかしい気持ちで、動画を見ていました^^。

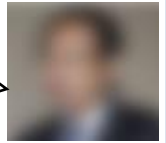


その動画では、サッカー日本代表の監督をつとめた岡田武史監督のインタビューがありました。岡田監督は1998年のフランスW杯だけでなく、2010年の南アフリカW杯でも監督として、チームを指揮し、横浜マリノスや中国のサッカーチームの監督を経て、現在はFC今治の代表取締役や学校法人今治明德学園の学園長を歴任されています。監督として、コーチとして、さまざまな選手、いろんな人と関わってこられた中で、チームの勝ちに向けて、自分の目標を勝ち取るために、経験から基づく大事なことを話されていました。

物事の勝敗には、そのときの天候や気温など「運」も勝ち負けを決める要素になる。その「運」は誰にでも平等に流れており、運をつかむためには手を抜かずにベストを尽くすことが大事で、サッカー選手として大きく成長していった選手は、練習や日々の行動から手を抜かず行動していた選手が多い。



また、勝敗の8割は「小さなこと」が勝ち負けを決める。そして、「これくらい大丈夫だろう…。」と気を抜いた小さなミスが結果的に運をつかみ損ね、大きな目標を逃すことにつながる。



最後に次の名言を残して、その番組のエンディングで締め括られていました。

### **「勝負の神様は、細部に宿る。」**

例えば、練習でコーンの周りを走るとき、楽をして内側を走るのか、距離の長い外側を走るかといった小さな選択が、後々の結果に影響を与えるということを意味しています。

…試合での勝敗は、戦術やフォーメーションだけで決まるのではなく、選手の意識、ちょっとした心構えや準備、普段の練習の積み重ねが勝敗を分けるということですね。



### **勝負の神様は、細部に宿る**

…まとめに入ります。

WBC や W 杯を迎える前に、皆さん(特に3年生)は自分自身の進路選択が待っています。合格・不合格が人生の勝ち負けであると言いたいわけでは決してありません。しかし、手抜きによって掴むことができる夢や目標を掴めなくなることはとても残念です。

だからこそ、「これくらいいいや」の精神は封印して、今しんどいけどコレはちゃんとしておこう!という細部にこだわる心で、冬休み→3 学期を過ごしてほしいと思います。細部にこだわってみる冬休みもたまには良いモンでしょう^^。

自分自身がたてた目標や夢に向かって進むとき、背中を後押ししてくれる言葉として、紹介したくなりました。